

説明会スケジュール

第一部（60分）：全学生対象

1. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING）について
2. 産業界の視点でみる博士課程後期修了後のキャリアパスについて
3. アカリクラウンジについて
4. 質疑応答

第二部（30分）：AI分野に関心がある人が対象

1. 広島大学次世代AI人材育成・支援プロジェクトについて
2. AIサーバーの紹介
3. 質疑応答

広島大学次世代AI人材育成プログラム

Project for Developing and Supporting the Next-Generation AI
Researchers at Hiroshima University

説明時間：15分

次世代AIフェローへの支援内容について（経済的支援）

●経済的支援

✓ 研究専念支援金 25万円/月

✓ 研究費 90万円/年を支給

（年合計390万円の支援）

※次世代フェローよりも
支援額が優遇されます。

※次世代フェローと併願可能
です。

●その他の支援

次世代フェローと同様に、HU SPRINGが提供する様々な支援コンテンツを受けることができます。（研究留学、共同研究費、英語教育、ポスターセッション、スピーチコンテストなど）

具体的な募集対象、人数

- 本学では全学年あわせて、**21枠の総支援枠**。
- 2024年に募集・選考を2回実施した結果、通算の**採択率は56.3%**でした。
- **応募対象はすべての研究科です。**理工系だけでなくそれ以外の人社系、医系などでもご自身の研究がAI分野に携わるのであれば応募可能です。
具体的な専門分野は後述の一覧を参考ください。

研究科	課程	専攻	プログラム	人数
全ての研究科	博士課程後期 又は4年制の博士課程	全ての専攻	全てのプログラム	<u>2025年4月入学 予定者</u> または <u>2025年度10月入学 予定者</u> から 計 5 名 程度募集

求められる人物像

- 本プロジェクトでは、単に研究上で既存のAI技術を活用するというものではなく、Society5.0の基盤となる技術としてのAIの開発と独創的な活用提案を通して、社会課題の解決に資するイノベーションを創出し、Society5.0の実現に貢献する人材を求めます。
- 採択される次世代AIフェローは、「広島大学AI・データイノベーション教育研究センター」のAI部門研究員の教員と、各研究科の指導教員と合わせて、二人主指導教員体制で指導を受けます。このことから、AI部門研究員の研究分野とマッチする研究内容でなければなりません。

AI部門教員とその専門分野 一覧

2024年12月6日現在の情報です、最新の情報はAI・データイノベーション教育研究センター HPをご覧ください。

氏名	職名	専門分野
Bisser Raytchev	教授	機械学習, 深層学習, コンピュータビジョン, 医用画像解析
江口 浩二	教授	テキスト解析/情報検索/ネットワーク解析/統計的機械学習
林 雄介	教授	知識の共有と活用を支援する情報システム
平嶋 宗	教授	人の学習を促進する知的情報システム
森本 康彦	教授	データマイニング/ソーシャルコンピューティング/データベースマーケティング
永原 正章	教授	数理最適化・機械学習・最適制御 およびそれらのスマート社会への実応用
ANDRADE SILVA DANIEL GEORG	准教授	ベイズ統計学/統計的機械学習
亀井 清華	准教授	分散アルゴリズム理論/情報推薦システム
北須賀 輝明	准教授	モバイルコンピューティング/ユビキタスコンピューティング
檜垣 徹	准教授	医用画像処理/医用画像可視化
尾形 陽一	准教授	数値流体力学/機械学習の応用
北基 如法	講師	代数幾何学/特にベクトル束のフロベニウス写像的究
相澤 宏旭	助教	コンピュータビジョン/機械学習
福本 航	助教	放射線診断学/死後画像診断
古居 彬	准教授	生体信号解析/統計的機械学習/ヒューマンマシンインタフェース
古 艶磊	准教授	自動運転/高度道路交通システム/深層学習/コンピュータビジョン/データマイニング
YU YI	准教授	マルチモーダル学習・生成モデリングおよびそれらのマルチメディアと音楽への応用
栗田 多喜夫	客員教授	統計的パターン認識 / 機械学習 / ニューラルネットワーク

次世代AIフェローへのなすべきことについて

- | |
|---|
| ①毎年度1年間の研究計画を策定し、研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。 |
| ②研究活動の状況を定期的に大学に報告すること。 |
| ③各種調査に協力すること。特に本学修了後 10 年間のキャリアに関する追跡調査に必ず協力すること。 |
| ④大学が実施する <u>研究力向上等に関するプログラムに参加</u> すること。 |
| ⑤「広島大学における研究活動に係る研究倫理教育に関する細則」に基づき、必要な研究倫理教育を受講すること。 |
| ⑥「HU SPRING」が実施する取組やHIRAKU－PFで案内する活動等に参画すること。
(特に「3QUESTIONS」は必ず参画し、「未来博士3分間コンペティション」は積極的に参画すること。) |
| ⑦ジョブ型研究インターンシップのアカウント登録を必ず行うこと。 |
| ⑧ <u>二人の指導教員による指導の下で、専門分野と AI 開発・応用のバランスを</u>
<u>とりながら研究を遂行すること。</u> |
| ⑨AIDI センターが主催する研究進捗度を確認する <u>発表会へ参加</u> すること。 |
| ⑩ 支援期間中に <u>AI 研究に関する学会発表や論文発表</u> を行うこと。 |

※次世代フェロー
と同様

※次世代AI
フェロー独自の
取組

広島大学次世代AI人材育成プログラム

我が国が目指す未来社会（Society 5.0）の実現に貢献する、組織として次世代AI人材を共同で育成する体制

次世代AI人材審査委員会

- ・次世代AI人材の選抜（スクリーニング及び面接）
- ・AI人材育成（AI部門研究者とのマッチング、研究進捗評価 等）

外部有識者
（AI関連企業、
アカデミア関係者 等）

学生選抜

AI部門研究者
とのマッチング

研究進捗
評価

AI分野及びAI分野における
新興・融合領域

各研究科

主指導教員
（各専門領域）

異分野の選抜学生が
集うAI研究発表会

研究計画策定

先端的AIの技術動向を
キャッチアップ

AI・データ
イノベーション
教育研究センター

主指導教員
（AI分野）

定期的な研究打合せ

AI分野の観点での
研究指導

二人の主指導体制

支援
Support

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（HU SPRING）

（コンテンツの一例）



若手研究者ポートフォリオの提供



フェロー同士の交流機会を提供



未来博士3分間コンペティション



研究留学支援プログラムの提供



フェロー同士の共同研究を支援



日本語・英語教育を提供

研究奨励費・研究費の支援

トランスファブルスキル
向上プログラム

研究力向上プログラム

国際性涵養の機会提供

キャリア開発支援

応募資格・要件※一部簡略化しています。応募する際には必ず募集要項を確認ください※

- 支援を開始する月の初日において本学大学院の博士課程に在学する者。ただし、標準修業年限を超えて在学している者及び休学している者を除く。
- 支援を開始する月の属する年の1月から12月までの間に240万円以上の収入(アルバイト等不安定な収入を除く)を得ることが見込まれない者。
- 日本学術振興会の特別研究員、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生又は母国からの奨学金等の支援を受ける留学生でない者。

日本学術振興会の特別研究員については、本プログラムの“併給”はできませんが“併願”は可能です。

- 他の奨学金等との併給が不可とされる地方公共団体や民間団体等の奨学金を受けることが見込まれない者。

併給不可の奨学金については、“申請中（結果待ち）”であっても本プログラムには応募できません。
※他財団の奨学金へ申し込み、その後、申請取り下げや辞退を行った際に、財団と大学の関係が悪化し、他の学生が奨学金に申し込めなくなる可能性があるため、一律に不可としています。

※公募開始後に、改めて募集要項をよく確認してください。

次世代AI人材育成プログラム申請書 作成上の注意点(1)

広島大学創発的次世代 AI 人材育成・支援プロジェクト 応募書類

申請者氏名 []

2. 【研究計画】※他分野の審査員も読むことを意識して、適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。

(1) 研究の位置づけ

次世代 AI フェローとして取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

なお、本項目は 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。

【研究計画】(続き)※他分野の審査員も読むことを意識して、適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。

(2) 研究目的・内容等

- ① 次世代 AI フェローとして取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
- ④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。
- ⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関(外国の研究機関等を含む。)において研究に従事することも計画している場合は、

具体的に記入してください。

なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で 2 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。

3. 【人権の保護及び法令等の遵守への対応】

本欄には、「2. 研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究や安全保障貿易管理を必要とする研究など指針・法令等(国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む)に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記入してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、行動調査(個人履歴・映像を含む)、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験、機微技術に関わる研究など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

該当しない場合は、その旨記入してください。

なお、字数制限はありませんが、全体で 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。

4. 【研究遂行能力の自己分析】

本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で 2 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。

学振DC申請書をベースに作成可能です。

記載項目

- ・ 研究計画
- ・ 人権の保護及び法令等の順守への対応
- ・ 研究遂行能力の自己分析

次世代AI人材育成プログラム申請書 作成上の注意点（2）

（学振DC申請書と異なる点）

5. 【目指す研究者像等】

「創発的次世代 AI 人材育成・支援プロジェクト」は、AI の開発及び活用を通して、社会課題の解決に資するイノベーションを創出し、Society5.0 の実現に貢献する博士課程後期学生を支援・育成し、羽ばたかせることを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けて次世代 AI フェローの採用期間中に行う研究活動の位置づけ」、(3)「目指す研究者像を踏まえて Society5.0 の実現に、次世代 AI 分野でどのように貢献するのか、現時点で目指している博士課程後期修了後のキャリアプラン」を記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分（四角い枠で囲われた部分）は消さないでください。

(3)「目指す研究者像」を踏まえて、博士号取得後に AI の開発及び活用を通して、どのように社会課題の解決に資するイノベーションを創出し、Society5.0 の実現に貢献するのか、現時点で想定しているキャリアプラン（特に博士号取得後 10 年間について）

「AIの開発及び活用を通して、どのように社会課題の解決に資するイノベーションを創出し、Society5.0の実現に貢献するか」に関する記述を求めます。

「日本の現状」を把握したうえで、「自身の経験・強み」を「具体的に」将来「どこ」で「どのように」生かしたいのか？を考える機会としてください。

- ✗ 単に研究員として研鑽を続ける、国際性を高める
- ✗ 海外の・・・研究室で研究員になり、高インパクト論文を出版する
- ✗ 単に日本で大学・企業等で研究者・技術者になる

次世代AI人材育成プログラム申請書 作成上の注意点（3）

●申請書には指定の書式があり、文字サイズやページ数にも指定があります。

●申請には指導教員（入学前の学生は受入予定教員）のご確認が必要です。

- ・ 指定書式以外で応募
 - ・ 指定のページ数を超過
 - ・ 指導教員の「推薦及び同意書」が無い
 - ・ チェックシートの未提出、チェック漏れ
- ➡これらは、審査対象外となる場合があります。

推薦及び同意書	
次の学生は、日本の将来の科学技術・イノベーション未来社会（Society5.0）の実現に貢献し、次世代 AI 分野での活躍が期待される優秀な学生であり、「広島大学創発的次世代 AI 人材育成・支援プロジェクト」の趣旨に沿う人材であることから、推薦いたします。 また、本学生の指導教員として、本プロジェクトの趣旨を理解し、「広島大学 AI・データイノベーション教育研究センター」の AI 部門研究員とともに、二人主指導教員の体制となることについて同意します。	
被推薦学生の学生番号	
被推薦学生の氏名	
【任意】指導を希望する AIDI センター AI 部門研究員の氏名	(※) 本行を含め、以下の斜体で記した説明文は提出する際には消去してください。 指導を希望する AIDI センター AI 部門研究員がいる場合は、その氏名を記入してください。(無記入の場合でも、採択後に AIDI センターで調整して適切な教員を割り当てます。)
指導教員所見	(※) 本行を含め、以下の斜体で記した説明文は提出する際には消去してください。 推薦するにあたり、本学生が AI の開発及び活用を通して、どのように社会課題の解決に資するイノベーションを創出し、Society5.0 の実現に貢献することが期待されるか、以下に指導教員の所見をご記入ください。
指導教員所属	
指導教員氏名	⑩

次世代AI人材育成プログラム申請書 作成上の注意点（４）

●自身の研究等に関するプレゼン動画の提出を必須としています。

* 動画での発表内容には以下を含めて、10分以内に収めてください。

1. 研究概要（これまでの研究と博士課程後期の研究計画）
2. AI の開発及び活用を通して、どのように社会課題の解決に資するイノベーションを創出し、Society5.0の実現に貢献するか。

* 動画内容は、適宜パワーポイントなどを使用して説明するなど、わかりやすい動画構成としてください。

* 動画は日本語または英語で説明の上、申請者の姿が見え、声が聞こえる形で撮影をしてください。（機械音声は使わないようにしてください）

➡専門外の審査委員でもわかりやすい説明内容としてください。

HP・各種問い合わせ先について

広島大学HP「大学院生支援プロジェクト」：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship>



問い合わせ内容	問い合わせ先	連絡先
・次世代AIフェローの募集、選抜、義務に関する事 ・研究専念支援金に関する事	グローバルキャリアデザインセンター	fellowship@office.hiroshima-u.ac.jp
・各種支援プログラムに関する事	HU SPRING事務局 (学術・社会連携支援部)	hu-spring@office.hiroshima-u.ac.jp
・次世代AIフェローの研究費、予算管理に関する事	学術・社会連携支援部	gakujutu-project@office.hiroshima-u.ac.jp

こちらも参考にしてください

 広島大学

日本語 English 中文

サイトマップ | 交通アクセス | お問い合わせ

Google 提供

Home > 大学院生支援プロジェクト > よくある質問 (FAQ)

大学院生支援プロジェクト

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト

女性科学技術フェローシップ制度

HU SPRING

フェローの義務

よくある質問 (FAQ)

採択フェロー一覧

よくある質問 (FAQ)

よくある質問については[こちら](#) をご確認ください。

English >

よくある質問をまとめています。
随時更新しています。

「公式Webサイト>大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト>よくある質問 (FAQ)
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/faq>

今後の次世代AIフェロー公募スケジュールについて

		2024					2025												2026												2027											...		
募集区分	対象者	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	...	10	11	...				
2025年4月 及び 2025年10月 支援開始分	2025年4月 入学予定者	募集・選考①				募集・選考②				採択者へ支援																								標準 修業 年 限 ま で 支 援										
	2025年10月 入学予定者									採択者へ支援																																		
2026年4月 及び 2026年10月 支援開始分	2026年4月 入学予定者									募集・選考①				募集・選考②				採択者へ支援																										
	2026年10月 入学予定者																	採択者へ支援																										
2027年4月 及び 2027年10月 支援開始分	2027年4月 入学予定者													募集・選考①				募集・選考②				採択者へ支援																						
	2027年10月 入学予定者																					採択者へ支援																						

※上記の表はあくまで目安です。状況によって変更することがありますので、詳細な時期は公募情報で確認してください。
「公式Webサイト＞大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト 年間公募スケジュール」
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/nextgeneration-ai/schedule>

今後の次世代AIフェロー公募スケジュールについて

The screenshot shows the Hiroshima University website. The top navigation bar includes the university logo and name, language selection buttons (日本語, English, 中文), and links for Site Map, Access, and Contact. Below this is a search bar and a breadcrumb trail: Home > University Student Support Project > Hiroshima University Innovative Next-Generation AI Human Resource Development Support Project > Public Information.

On the left sidebar, the 'Public Information' (公募情報) link is highlighted. The main content area is titled '公募情報' and contains two sections: 'Current Public Information' (現在の公募情報) and 'Past Public Information' (過去の公募情報).

The 'Current Public Information' section states: '現在募集は行っておりません。' (We are not currently recruiting) and '次回の募集は2024年12月中旬頃を予定しております。' (The next recruitment is scheduled for around mid-December 2024).

The 'Past Public Information' section lists two past recruitment periods: '【2024年7-8月募集】 2025年4月及び2025年10月支援開始分' and '【2024年4-5月募集】 2024年4月及び2024年10月支援開始分'.

A red box highlights the 'Public Information' link in the sidebar and the 'Current Public Information' section. A red arrow points from this box to a yellow box on the right.

こちらに募集要項・応募書類などを掲載します。

「公式Webサイト>大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)>公募情報
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/nextgeneration-ai/application>



Go beyond your comfort zone!

Hiroshima University strongly encourages our students to go beyond their comfort zone, in terms of not only academic abilities, but also interactions with people from different backgrounds such as other disciplines, nationalities, cultures, languages, etc.